

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●有馬記念はブラストワンピースが優勝

12月23日(祝・日)に行われた有馬記念(G I)ではブラストワンピース(牡3歳/美浦・大竹正博厩舎)が優勝、G I初制覇を果たしました。鞍上の池添謙一騎手(栗東・フリー)は有馬記念4勝目となり、これは同レース最多勝記録となります。

●中山大障害はニホンピロバロンが優勝

12月22日(土)に行われた中山大障害(J・G I)ではニホンピロバロン(牡8歳/栗東・田所秀孝厩舎)が優勝、J・G I初制覇を果たしました。8歳馬による同レース制覇は1998年春のノーザンレインボー以来20年ぶりのこと。また鞍上の石神深一騎手(美浦・フリー)は中山大障害3連覇、J・G I 6連覇を達成しました。

●江田照男騎手がJRA通算1万6000回騎乗を達成

12月22日(土)の5回中山7日・第3レースでブルーフェアリーに騎乗した江田照男騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で、史上11人目、現役では9人目となるJRA通算1万6000回騎乗を達成しました。

●宮本博調教師がJRA通算300勝を達成

12月22日(土)の5回阪神7日・第8レースではサマーサプライズが1着となり、同馬を管理する宮本博調教師(栗東)は、現役65人目となるJRA通算300勝(延べ3721頭目)を達成しました。

●重賞ウイナー3頭の競走馬登録抹消

2015年セントウルS(G II)などの勝ち馬アクティブミノル(牡6歳/栗東・北出成人厩舎/JRA通算32戦3勝)、2017年東京中日スポーツ杯武蔵野S(G III)などの勝ち馬インカンテーション(牡8歳/栗東・羽月友彦厩舎/JRA通算32戦10勝・地方4戦1勝)、2017年ローレル競馬場賞中山牝馬S(G III)の勝ち馬トーセンビクトリー(牝6歳/栗東・中竹和也厩舎/JRA通算30戦6勝)は、12月21日(金)までに競走馬登録を抹消されました。アクティブミノルは地方・船橋競馬に移籍し、インカンテーションは北海道浦河町のイーストスタッドで種牡馬、トーセンビクトリーは北海道日高町のエスティファームで繁殖馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●3歳馬チュウワウイザードが名古屋グランプリで重賞初制覇

名古屋グランプリ(Jpn II、12月24日、名古屋、2500万円)は、序盤2番手、途中から3番手に控えた2番人気のチュウワウイザード(川田将雅騎手、牡3歳、父キングカメハメハ)が、先に抜け出した3番人気のミツバをゴール前で差し切り、重賞初挑戦で初制覇を果たしました。逃げた単勝1.8倍で1番人気のグリムは3着、センチュリオンは4着、ナムラアラシは6着でした。

●アイオブザタイガーが金沢で重賞2連勝【各地の主要2歳重賞】

金沢ヤングチャンピオン(12月2日、金沢、1700万円)は、3番手から3、4コーナー中間で先頭に立ったアイオブザタイガー(牡、父スマートファルコン)が7馬身差で圧勝、単勝1.2倍の支持に応じて兼六園ジュニアCに続き重賞2連勝。寒菊賞(12月10日、水沢、1600万円)は、先手を取った3番人気のパンプキンズ(牡、父スターリングローズ)が後続をクビ差振り切り、初の重賞制覇を果たしています。

●ゴールドドリームが登場、12月29日の東京大賞典(大井)

東京大賞典(G I、12月29日、大井、2000万円)は、ゴールドドリームが最有力、ケイティブレイブ、オメガパフュームが続き、クリソライト、アポロケンタッキー、エイコーン、サウンドトゥルー(船橋)までが争覇圏内と考えられます。他にJRAからはリーゼントロックが出走の予定です。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●2018年は日本産馬が世界で存在感示す

今年日本調教馬による海外G 1制覇はなりましたが、日本産馬が海外で偉業を達成。その強さを大いにアピールしました。欧州で歴史的な勝利をあげたのは、ディーブインパクト産駒の日本産馬サクソンウォリアー(牡3歳、愛A. オブライエン厩舎)。5月5日にニューマーケット競馬場で行われたG 1英2000ギニー(3歳牡牝、芝800m)を1馬身半差で快勝して、近代競馬発祥の地であるイギリスのクラシック制覇を日本産馬として史上初めて果たしました。サクソンウォリアーは来春から欧州を代表する種馬場であるアイルランドのクールモアスタッドで種牡馬入りします。アメリカで史上初の快挙を成し遂げたのが日本生まれのハーツクライ産駒であるヨシダ(牡4歳、米W. モット厩舎)。9月1日にサラトガ競馬場で行われたG 1ウッドワードS(3歳上、ダート900m)を2馬身差で快勝し、日本産馬として史上初めて海外のダートG 1、それもダートの本場として知られるアメリカのダートG 1を制するという偉業を達成しました。ヨシダは2019年も現役を続行。更なるG 1制覇が期待されています。